① 食育月間の取組

提出都道府県	名	神奈川県
政令指定都市	名	
取組市町村	名	平塚市
取組団体・企業	名	
取組の名	称	野菜を食べようプロジェクト
	期	令和4年6月2・7・9・14・16・21日(計6日)
	7-73]	
取 組 内	容	【目的】生活習慣病予防につながる健康づくりのための食育を実施するため、野菜
		の摂取量が少ない年代(20~40歳代)に1日の野菜必要量の確認、摂取勧奨を行いま
		す。また、平塚市の地場産野菜情報について、地場産農産物普及キャラクターを用
		い掲示しました。
		【対象者・参加者】幼児健診受診の保護者(1歳6か月児健診及び3歳児健診)
		2 5 6 人
		【山穴】 金口及が似曲のつ、ドエディのよった。 カロンマー1 ロルン画の服芸の具
		【内容】食品及び料理のフードモデルやポスターを用いて、1日に必要な野菜の量
		や地場産野菜についての普及を行いました。地場産農産物普及キャラクター「ベジ 太」は平塚市小学校給食のメニュー名に登場するなど、若い世代になじみがあり、
		保護者や子どもたちの関心を引く様子が見られました。平塚市食育推進計画関係各
		課がそれぞれの事業で取り組んでいることが相乗効果となって普及啓発につながっ
		でいます。
		CV'£ 9°,

① 食育月間の取組

提	出都	道府県	具 名	神奈川県
政	令 指	定都市	5 名	
取	組市	町村	名	小田原市
取	組団体	・企	業 名	
取	組	の名	称	地元小学校への魚食普及の取組
実	 施	 時	期	6月14日
	,,_	•	•••	
取	組			 地元小学校の児童に対し、小田原の水産業についての講座と、市が管理する市場の施
-12	447	rı	ъ.	設見学を実施した。
				水産業の講座の中で、需要拡大の余地のある「未利用・低利用魚」についても紹介し、
				食べてみるとおいしい魚が多いことを説明した。
				「未利用・低利用魚」の有効活用の一環として、平成 26 年に、「小田原の魚ブランド
				化・消費拡大協議会」で開発した「かます棒」の成り立ちについて説明し、かます棒
				の特徴である、中骨を特殊な器具で抜き取る体験をしてもらった。
				体験後は職員が調理を行い、かます棒を試食してもらい、小田原の地魚の美味しさを
				実感してもらった。
				odawara_fishbrand
				odawara_fishbrand 「片浦小学校 水産講座」
				昨日は片浦小学校の5年生向けにクイズを交えた護座のほか、定 置網で獲れて小魚の説明、カマス骨抜き体験、市場の施設の説 明等、させていただきました。
				片浦小学校は少人数な事もあり、最後にかます棒フライを食べ てもらいました。
				児童の皆さんのデンションは場上げ! 「ジューシーさがサイコー!」「今日はなんていい日なん だ!」「うましょうますぎ!」
				定面網は待ちの漁法で、網に迷い込んだもののうち、2-3割程度 が漁獲されると言われており、比較的負荷は小さく、江戸時代 から挑くものです。 一方で、小魚も含めて漁獲されるため、大切に消費したいです
				一方で、小派も含めて高速されるだめ、人切に消費したいです インサイトを見る
				② コメントを追加 投稿する
				※「小田原の魚ブランド化・消費拡大協議会」インスタグラムより
				M *** 国内(1/2) M *** M